

令和5年度

相模原市IR資料



潤水都市 さがみはら

第1回 相模原市公募公債（10年債）

潤水都市さがみはら債

トピックス	1
1. 相模原市のプロフィール	6
2. 財政状況	10
3. 堅実な財政運営の堅持に向けて	20
4. 市債運営	24
お問い合わせ先	28



トピックス 橋本駅周辺まちづくり

橋本駅周辺のまちづくり

リニア中央新幹線、圏央道、鉄道3路線で広域につながる橋本は、ものづくり産業が集まり、さまざまな人が行きかうだけでなく、周りには豊かな自然があるなど多くの可能性を持っています。



リニア中央新幹線神奈川県駅(仮称)の工事が進められ、合わせて駅周辺のまちづくりを推進しています。



【まちづくりのコンセプト】

リニアでつながる
一歩先の未来を叶えるまち橋本



トピックス 森のイノベーションラボFUJINO(森ラボ)

緑区中山間地域のつながりの場：交流拠点＋テレワークセンター



- 築30年強の公共施設をリノベーション。ウッドデザイン賞2021受賞
- 地域内外800人以上利用登録
- 地域のデジタル化促進のため、地域おこし協力隊2名着任
- 働く場の新たな選択肢の提供

- 地域課題解決に向けた交流拠点として地域組成のプロジェクトや関係人口創出等に向けたイベントの実施（規格外野菜活用、農林福芸連携、Web3.0など15プロジェクト）
- ビジネスマッチング・起業支援の取組などを通じた法人立上げ等支援





トピックス さがみ風っ子展

子育てするなら相模原

～ 子どもたちに 夢と希望と豊かな心を育む「さがみ風っ子文化祭」事業 ～

【事業目的】

造形活動・音楽活動・演劇活動の発表の機会を提供し、子どもたちに夢と希望と豊かな心を育むことを目指すもの。また、学童期から文化芸術活動の充実に力を入れている市であることをPRし、人口増加を目指すもの。

中学校演劇発表会

市立中学校等の演劇部員による演劇活動の発表。



小・中音楽発表会

小・中学生による合唱や器楽合奏、吹奏楽の発表。



造形「さがみ風っ子展」

小・中学生や支援学校生が制作した図工・美術の作品 約2万点の作品展。



「小・中学生たちの作品を一堂に集めた美術展を相模原で開こう」
地元教師たちの熱い想いをきっかけに、1975(昭和50)年にはじまり、
日本最大級の屋外作品展として、40年以上にわたり相模原市の芸術文化を育てている。



トピックス 財政状況の概要

相模原市の財政状況

財政健全化指標の状況

- 1** 実質公債費比率は 20指定都市のうち2番目の低さ
- 2** 将来負担比率は 20指定都市のうち5番目の低さ
- 3** 財政力指数は 20指定都市で9位
- 4** 自主財源比率は 20指定都市で9位

(令和4年度決算)

相模原市は、財政健全化指標の定着等により、格付け取得(STANDARD&POOR'S社)を平成25年2月からとりやめています。

1. 相模原市のプロフィール





相模原市の概要-1

Easy Access

産業・経済の発展と市民生活の更なる向上をめざす街、さがみはら。
 首都圏の主要都市や羽田空港への好アクセスに加え、小田急多摩線の延伸計画があり、実現されると鉄道ネットワークの更なる強化が見込まれます。
 また、日本の新たな大動脈として期待の高まる「リニア中央新幹線」が開業すると、中京圏、近畿圏へのアクセスも一層向上します。



相模原市は神奈川県北部、首都圏の南西部に位置しており、東京都心から30~60Km圏内にある人口約72万人の都市

※所要時間は最速表示です



相模原市の概要-2

市の沿革

- 昭和29年 市制施行
- 昭和30年 工場誘致条例制定
- 昭和33年 市街地開発区域第1号指定
- 《内陸工業都市として発展》
- 昭和40年代 年間2万人以上の人口増加を経験
- ベッドタウン化の進行
- 《全国でもまれにみる人口急増都市》
- 平成11年 業務核都市指定
- 平成15年 《中核市へ移行》
- 平成18年 津久井町、相模湖町と合併
- 平成19年 城山町、藤野町と合併
- 平成22年 《指定都市へ移行》
(全国で19番目、戦後誕生した市としては初)
- 平成26年 市制施行60周年
- 令和2年 指定都市移行10周年

〈相模大野駅付近から北西側を望む〉



70万人

0

相模原市の人口推移

80,991

昭和30年 35年 40年 45年 50年 55年 60年 平成2年 7年 12年 17年 22年 27年 令和2年 5年



相模原市の概要-3



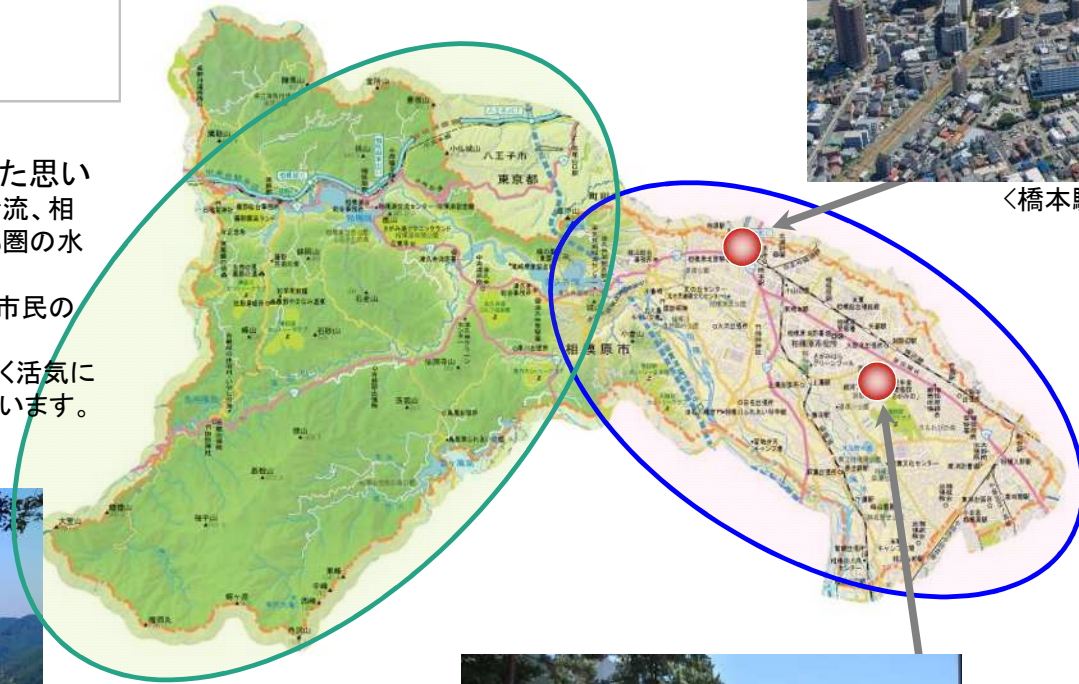
潤水都市 さがみはら

○「潤水都市 さがみはら」
に込められた思い

- ・相模川の豊かな流れや道志川の清流、相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖など首都圏の水がめを有しています。
- ・清らかな水・豊かな自然に恵まれ、市民の心も潤いに満ちています。
- ・戦後生まれ初の政令指定都市で若く活気にあふれ、「純粹」という言葉にかけています。



〈橋本駅周辺〉



東部の旧相模原市地域は、平坦な市街地において密度の高い土地利用が進む



〈相模湖周辺〉

西部の津久井地域は、丹沢の山々と湖が、水源地の豊かな自然環境を形成



〈JAXA 相模原キャンパス(宇宙科学研究本部)〉

美大・医大などの多様な大学やJAXA等、学術・研究機能が集積する都市

2. 財政状況

小粒だけど堅実な財政運営





財政規模

小粒だけど堅実な財政運営

令和4年度普通会計決算収支状況

(億円)

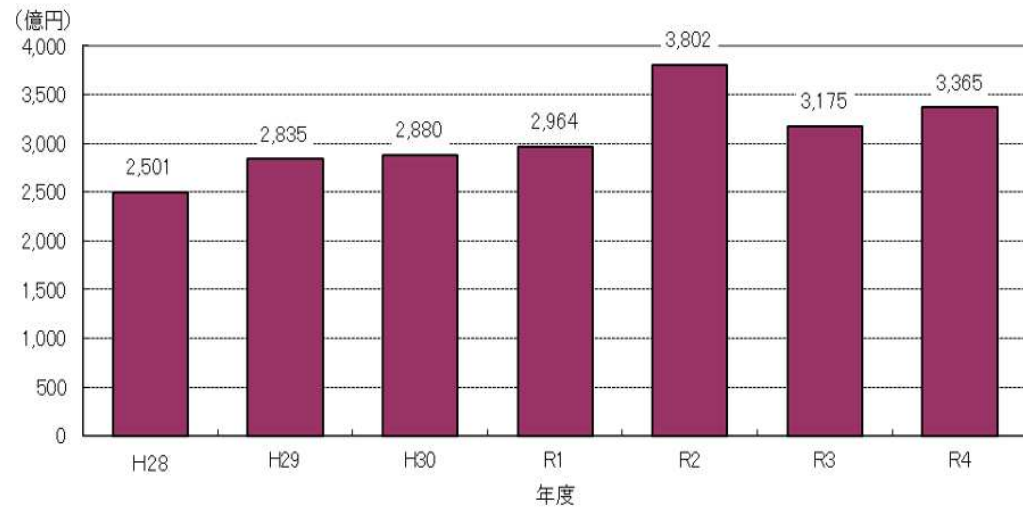
項目	金額	備考
歳入総額	3,541	標準財政規模は指定都市 20位／20都市 1,803.1億円 指定都市の 標準財政規模平均 3,885.6億円
歳出総額	3,365	
歳入歳出差引	176	
実質収支	160	

市民一人あたりの歳出決算額 (万円)	46.9	指定都市 20位／20都市
--------------------	------	------------------

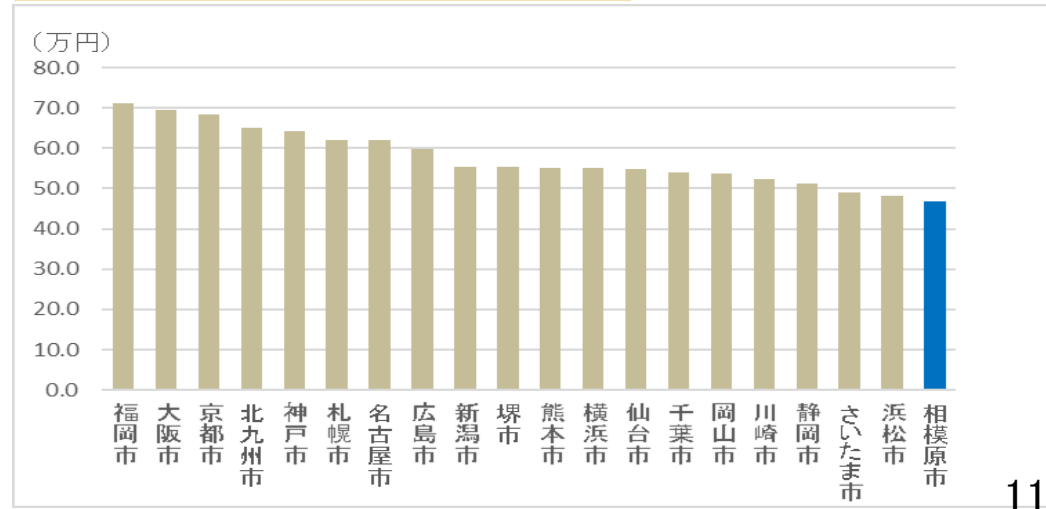
- 財政規模は指定都市の中で最も小さな規模
- 市民一人あたりの歳出決算額も最も少額

※「一人あたり」の指標の積算は、3月31日現在の住民基本台帳人口に対する割合で算出

歳出総額の推移



市民一人あたりの歳出決算額比較

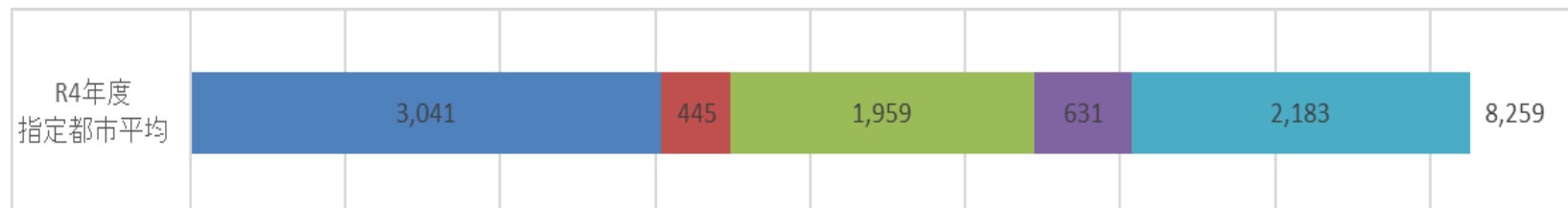
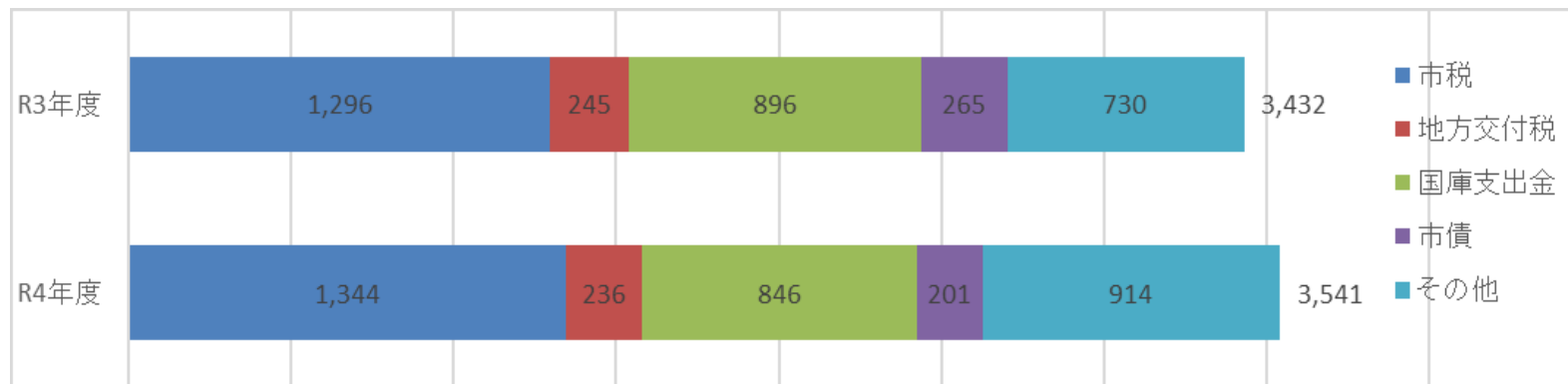




歳入について-1

歳入

- 歳入は約3,541億円で、前年度より3.2%増加
市税が企業収益が好調だったこと等により3.7%増加、
地方消費税交付金が円安や資源高による物価上昇から消費税収入が増額になったことにより4.8%増加





潤水都市 さがみはら

歳入について-2

市税の状況

- 法人市民税が企業収益が好調だったこと等により24.6%増加
- 固定資産税が家屋の新增築が堅調に推移したこと等により3.9%増加
- 他市に比べ、個人市民税の割合が大きく、法人市民税の割合が小さい

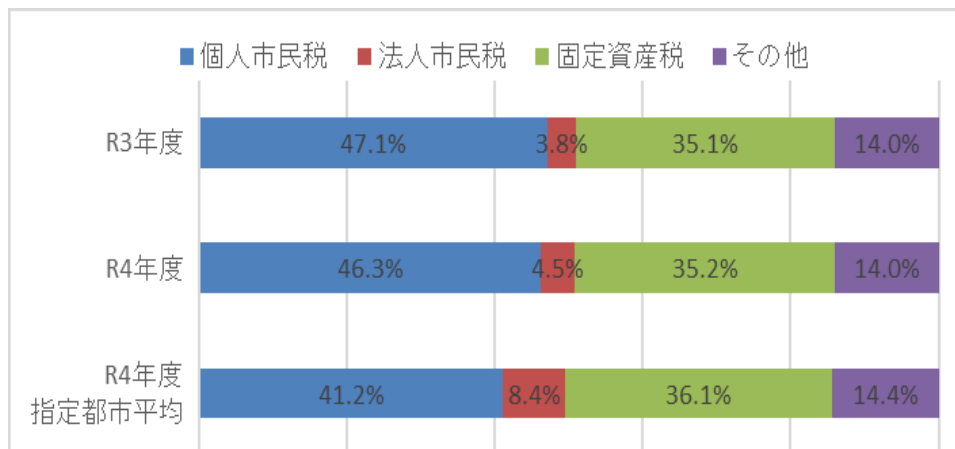
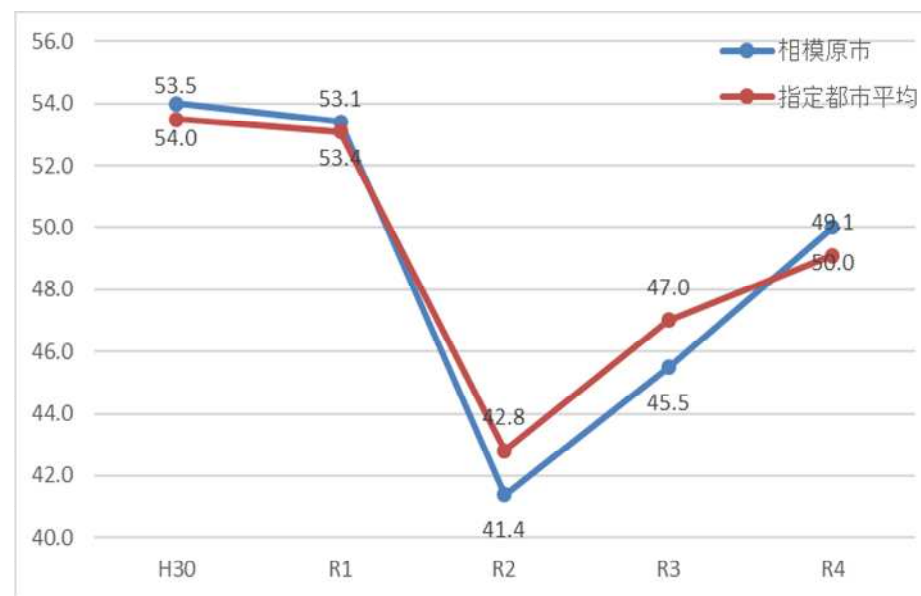
市税収入額 (億円)	個人 市民税	法人 市民税	固定 資産税	その他	計
令和3年度	611	49	455	181	1,296
令和4年度	622	61	473	188	1,344

自主財源比率

- 5割を自主財源が占める
- 規模は小さくても十分な財源調達

相模原市	指定都市 平均	R3 : 9位 / 20都市 R4 : 9位 / 20都市
50.0%	49.1%	

(%)



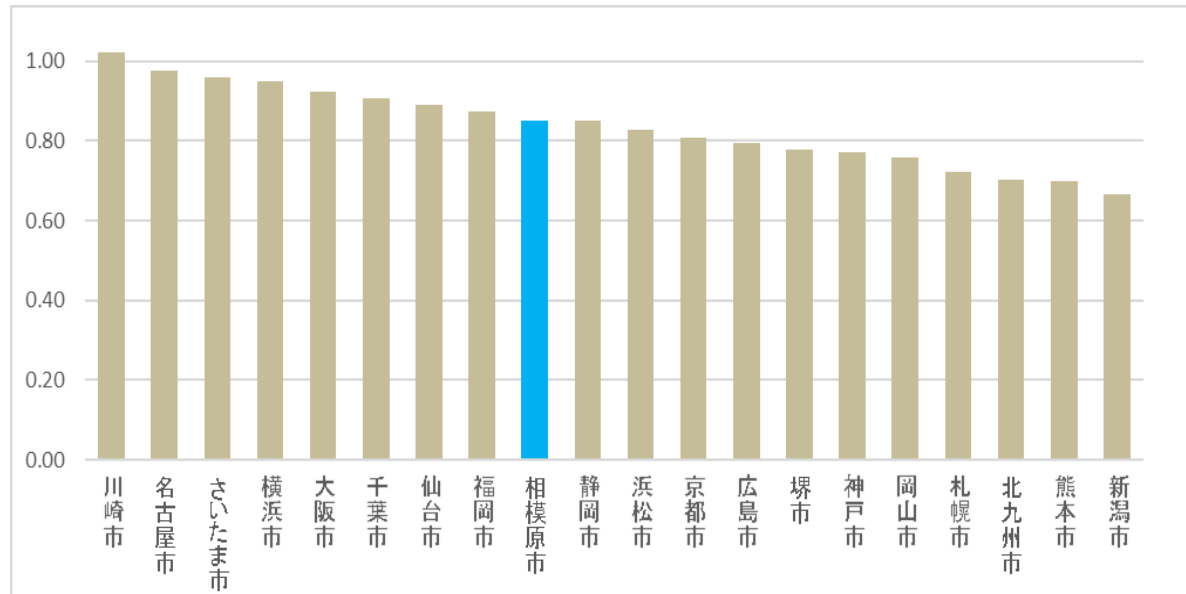
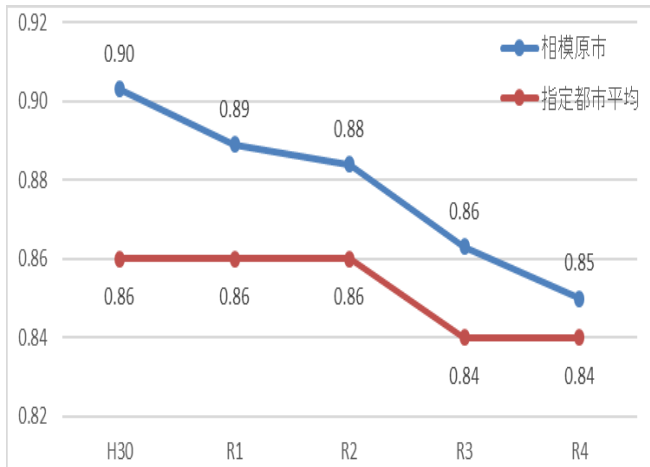


歳入について-3

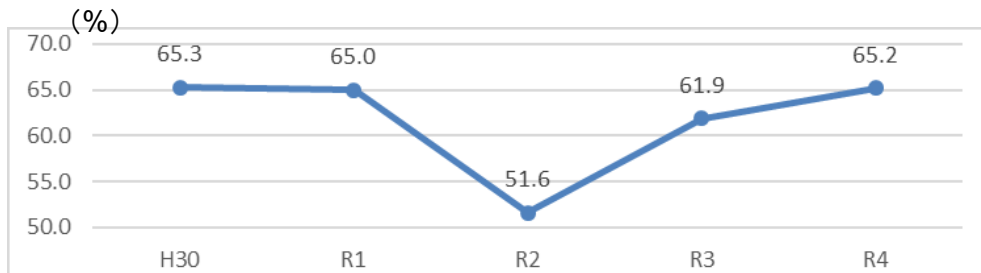
財政力指数(3カ年平均)

- 令和4年度の財政力指数(3カ年平均)は「0.85」
- 指定都市 9位 / 20都市

相模原市	0.85	9位 / 20都市
指定都市平均	0.84	



一般財源比率



- 一般財源比率が高いほど財政運営の自由度が高くなる



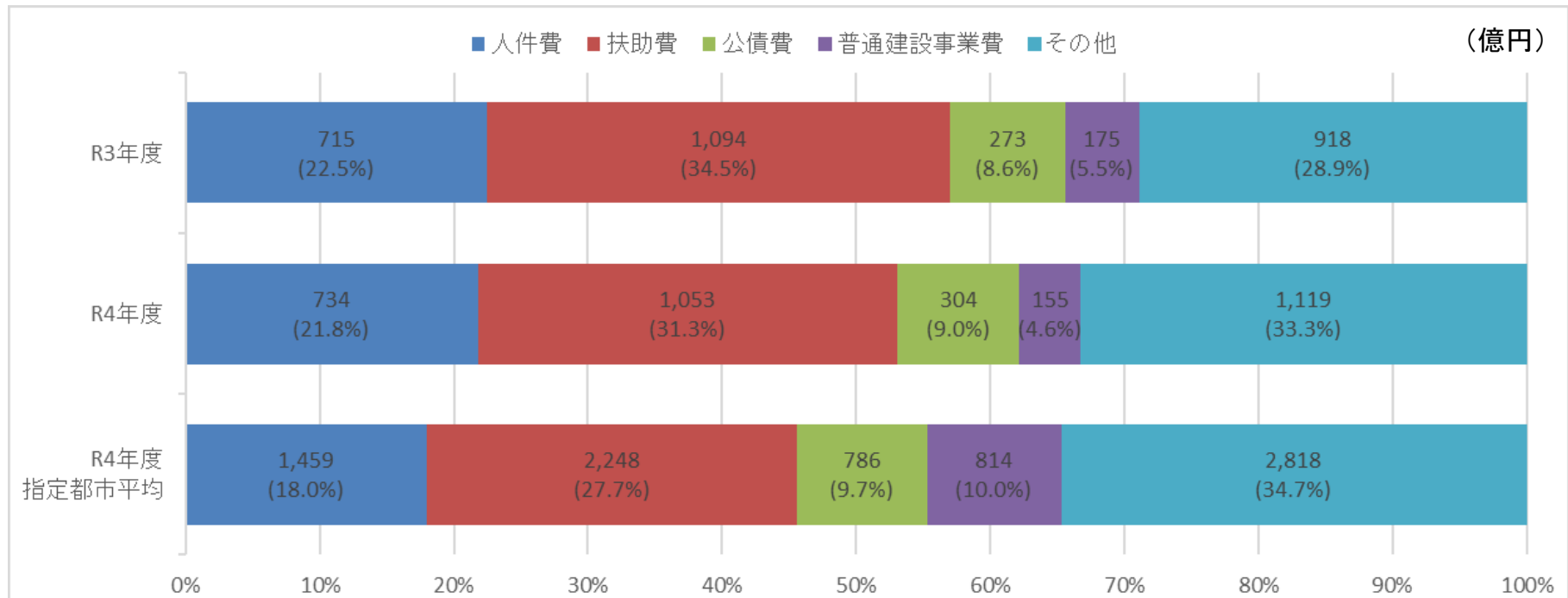
歳出について-1

歳出

- 歳出は約3,365億円で、前年度より6.0%増加
- 商工費が消費喚起協力金事業の増加等により前年度と比べると27.7%増加
- 土木費が市街地整備基金積立金の増加等により前年度と比べると23.4%増加
- 他の指定都市に比べ、
人件費の割合が高いものの、市民一人あたりの人件費で比較すると 13位 / 20都市
公債費の割合が低く、市民一人あたりの公債費は 19位 / 20都市

市民一人あたりの人件費
102,200円(指定都市13位)
指定都市平均107,906円

市民一人あたりの公債費
42,285円(指定都市19位)
指定都市平均55,909円

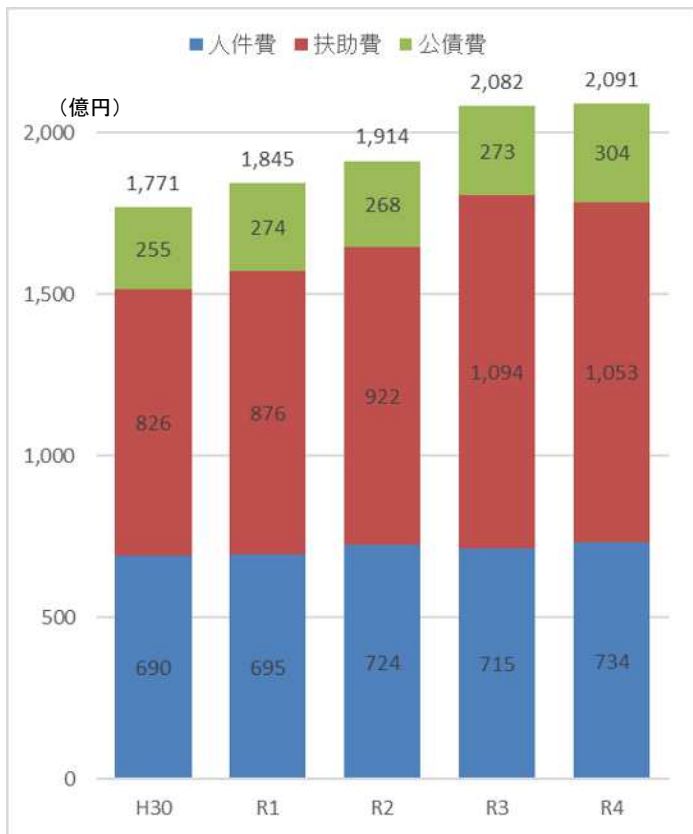




歳出について-2

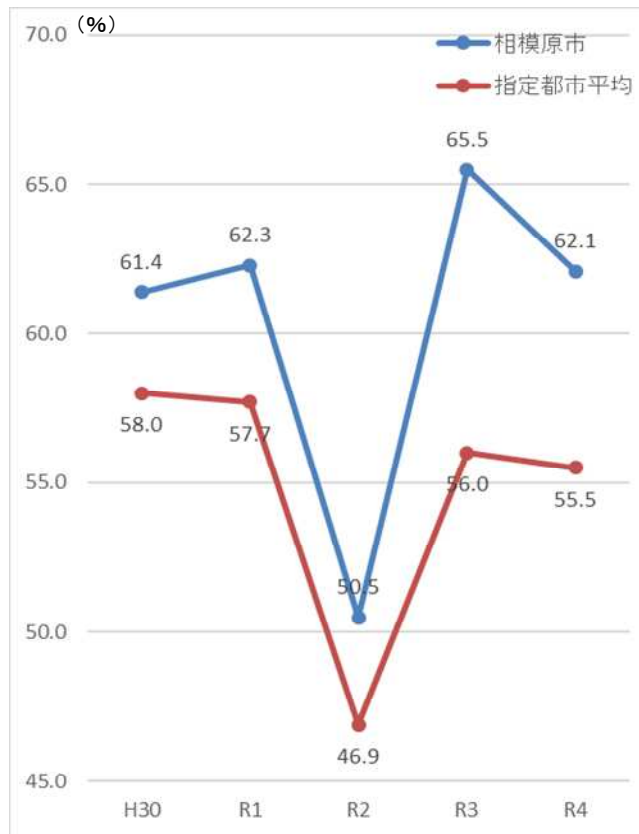
1 義務的経費の推移

- 人件費 退職手当の増加や人事委員会勧告に基づく期末手当の引き上げ等の影響により増加
- 扶助費 子育て世帯への臨時特別給付金事業費の減少等により減少



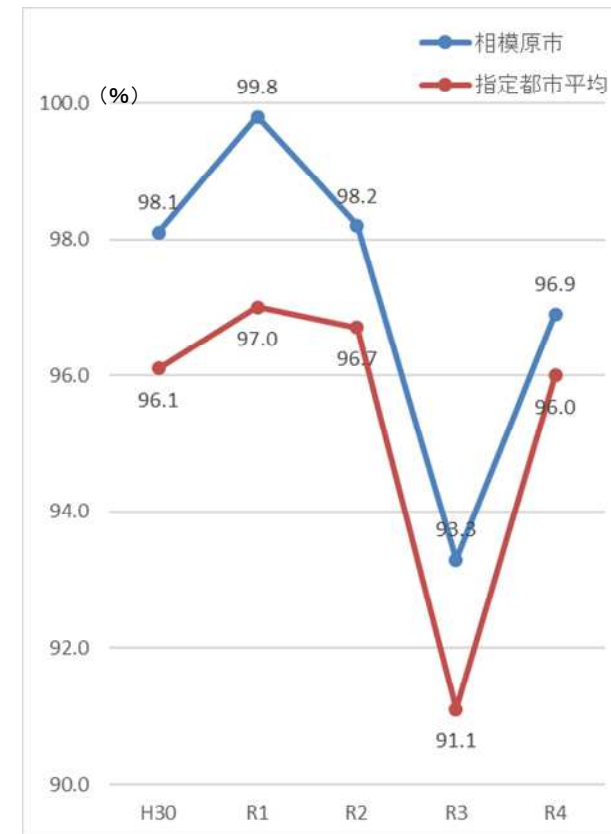
2 歳出に占める義務的経費の割合

- 人件費、扶助費の歳出割合が減少したため、歳出に占める義務的経費の割合は減少



3 経常収支比率

- 分子となる経常経費充当一般財源が増加し、分母となる経常一般財源等が微減となったことから、経常収支比率は前年より上昇





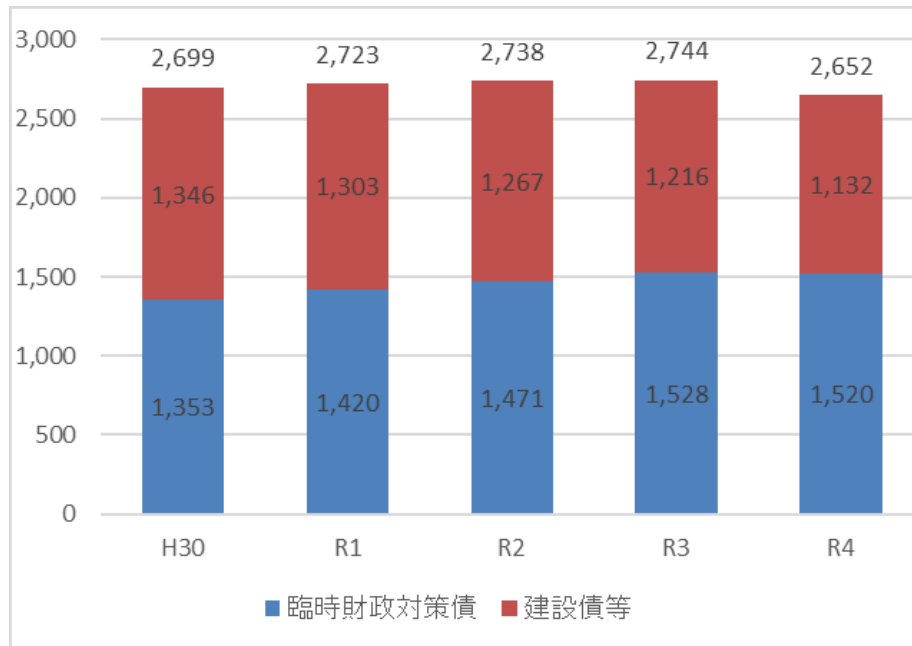
市債残高と財政健全化指標について-1

市債残高の状況

臨時財政対策債、建設債等ともに
残高は前年度より減少

市債残高（普通会計）

(億円)



	令和3年度末	令和4年度末	指定都市平均	順位 (20市中)	
市債残高(普通会計) (億円)	2,744	2,652	10,368	20位	
市民一人あたりの 市債残高(万円)	38	37	74	18位	
歳入総額に対する 市債残高の倍率	0.80	0.75	1.25	18位	
健全化指標	実質赤字比率	—	—	—	
	連結 実質赤字比率	—	—	—	
	実質公債費 比率(%)	2.7	2.7	7.0	19位
	将来負担比率 (%)	14.2	2.0	88.9	16位

全会計の市債残高と債務負担行為

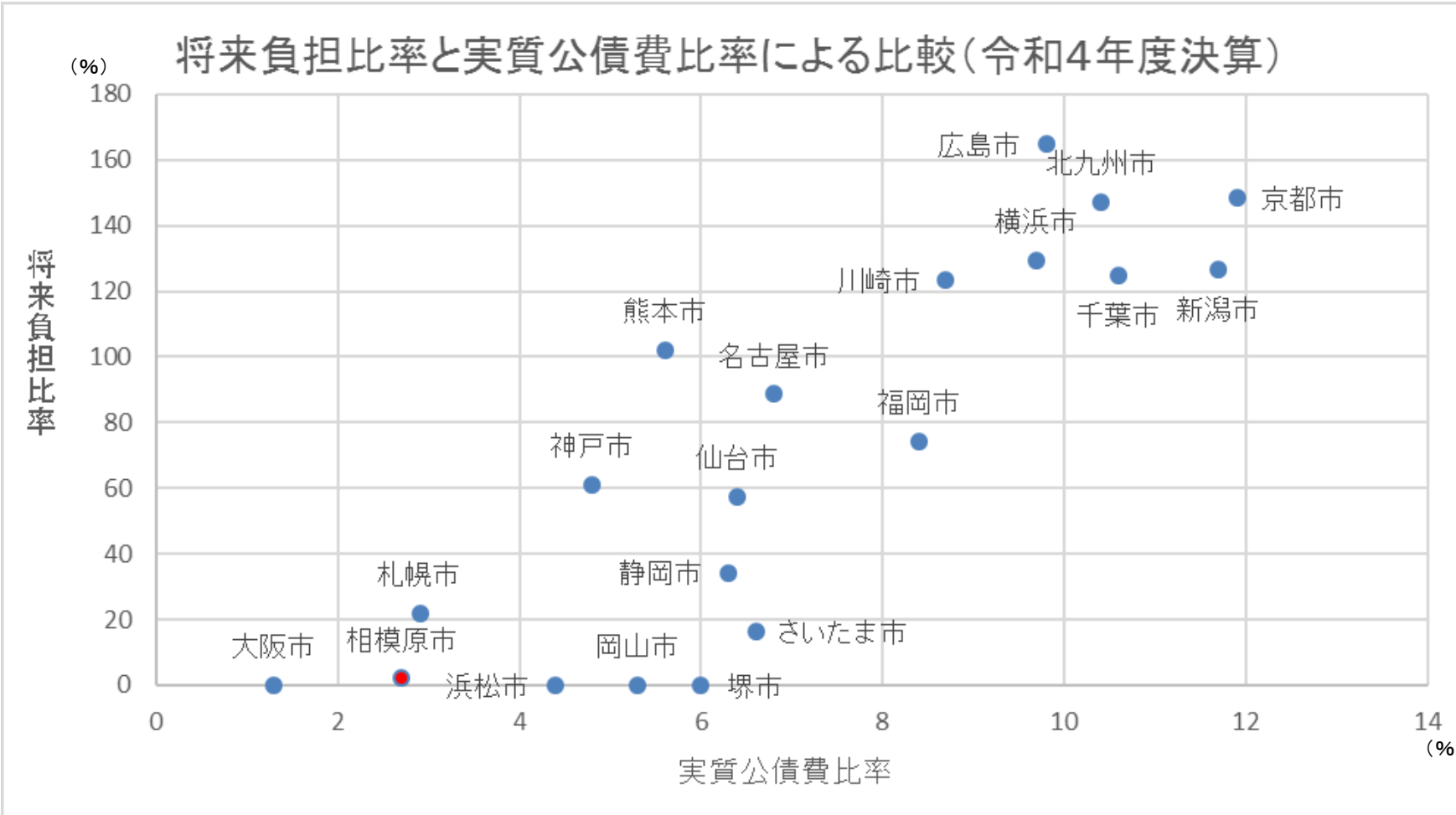
(億円)

令和4年度末現在	相模原市	指定都市平均
(A) 全会計の市債残高	3,625	15,169
(B) 債務負担行為 翌年度以降支払予定額	393	1,677
(C) 計 (A)+(B)	4,018	16,846

市債残高と財政健全化指標について-2

健全化指標

実質公債費比率は前年度から変動なし、将来負担比率は前年度から12.2ポイント減少
 いずれの指標も本市財政の健全性を示すものとなっている



3.堅実な財政運営の堅持に向けて





堅実な財政運営の堅持に向けて-1

1 行財政改革の断行

さがみはら都市経営ビジョン	平成17年策定	⇒具体的な行動計画としてアクションプランを策定
さがみはら都市経営指針	平成25年策定	⇒具体的な行動計画として実行計画を策定
第2次さがみはら都市経営指針	平成29年策定	⇒「新・相模原市総合計画後期実施計画」連携し、具体的な行動計画として実行計画を策定
行財政構造改革プラン	令和3年策定	⇒持続可能な行財政構造の構築策として、「基準財政モデル」を設定

行財政構造改革プランの目的

今後の人口減少と著しく財政が硬直化している中であっても、市総合計画の基本構想で描く本市の将来像「潤いと活力に満ち 笑顔と希望があふれるまち さがみはら」を実現するために、持続可能な行財政基盤を築く

財政健全化の目標

- 歳出超過の解消
- 持続可能な財政運営の確立
- 経常収支比率の改善

主な取組

- 新たなまちづくり事業等の選択と集中
- 既存の公共施設等の見直し
- 事務事業の選択と集中
- 外郭団体の経営改革
- 市税収入等の確保対策
- 特定財源の積極的な確保
- 地方交付税等の確保
- 未利用市有地の売却・有効活用



堅実な財政運営の堅持に向けて-2

2 財政情報のスピーディーかつ積極的な公表・公開

市民向け情報、投資家向け情報ともに、適時性を持った積極的な財政情報の公表・公開を推進

相模原市の情報公開に関する特徴的な取り組み

- 財政パンフレット（予算事始）※H31～R4年度分は作成しておりません
- 相模原市財政の状況
- 他都市比較で見る相模原市財政の状況
- 本市HPへのIR情報掲載
- 財務諸表関連情報は附表を含め全文を本市HPに掲載

（本市HP「市の財政」：<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026803/1003966/index.html>）

相模原市のIR活動について

- 機関投資家等の個別訪問
- 本市HP等での、適時／公平／継続的な情報公開

4. 市債運営





市債運営

- ・資金調達を公的資金から民間資金へシフトし、財政運営の自立性を高めます
- ・相模原市は、市場公募地方債を継続的に発行し、流動性の確保を図ります

資金調達の状況

(億円)

資金区分	平成21年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公的資金	144 (60.9%)	1 (0.3%)	43 (10.0%)	33 (10.5%)
全国型市場公募地方債(10年債)	0 (0.0%)	150 (50.2%)	200 (46.6%)	150 (47.8%)
住民参加型市場公募地方債(5年債) [※]	10 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
銀行等引受債ほか	83 (34.9%)	148 (49.5%)	186 (43.4%)	131 (41.7%)

令和5年度第1回相模原市公募公債

愛称名	潤水都市さがみはら債(10年債)
発行時期	令和5年10月
発行規模	100億円

※住民参加型市場公募地方債については、最近の低金利の市場環境では魅力ある商品性の確保が困難なため、平成28年度より当面の間、発行を休止しています。

「さがみはらグリーンボンド発行」について(1)

気候変動に対する本市の取組

相模原市環境基本計画

相模原市環境基本計画は、相模原市環境基本条例第8条に基づき、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画です。

- 本市は、平成22(2010)年3月に「相模原市環境基本計画 2010-2019」(以下「前計画」といいます。)を策定し、以降様々な取組を進めてきました。
- 前計画が計画期間の終了を迎えたこと、また、本市を取り巻く社会情勢や環境の変化、環境に対する新たな課題やニーズ等へ対応するため、「第3次相模原市環境基本計画」を策定し、本市が抱える様々な環境問題に対する施策を定め、解決に向けて取組を推進しています。



さがみはら気候非常事態宣言

- 気候変動により自然災害が頻発するなどの状況を受け、本市は政令指定都市として初の気候非常事態宣言となる「さがみはら気候非常事態宣言」を表明しました。



さがみはら脱炭素ロードマップ

- 本市は、「さがみはら気候非常事態宣言」において、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す決意を表明しました。この目標達成に向け、「脱炭素社会の実現」達成までの道筋を示す「さがみはら脱炭素ロードマップ」を策定しました。



相模原市 SDGs未来都市計画

- SDGsの推進に向けた取組と、発展を続ける都市部と雄大な自然の調和や共生社会の推進などの高いポテンシャルが評価され、本市は「SDGs未来都市」に選定されました。これを受け、本市は「相模原市SDGs未来都市計画」を策定しました。



CDPシティ「Aリスト」に選定

- 本市は、国際的な環境非営利団体であるCDPによる自治体向けプログラム「CDP シティ」において、最高評価の「A リスト」自治体として選出されました。
- 「A リスト」は気候変動に対する緩和と適応のための大胆な行動と透明性で、最高評価を得た自治体を認定するものです。





「さがみはらグリーンボンド」発行について(2)

「さがみはらグリーンボンド」を発行予定

「さがみはらグリーンボンド」の概要

- 本市は、「さがみはら脱炭素ロードマップ」の取組の加速、また「相模原市 SDGs未来都市計画」の実現に向けた資金調達の一環として、令和4年度より「さがみはらグリーンボンド」を発行しています。
- 令和5年度も、右記内容の通り発行を予定しております。

正式名称	第2回相模原市グリーンボンド10年公募公債
年限	10年満期一括償還債
発行金額	50億円程度
条件決定日	令和5年度(2023年度)12月以降
引受会社	みずほ証券株式会社 / 野村証券株式会社
債券の種類	市場公募債(機関投資家向け)
投資表明	投資表明をいただける投資家様については、本市HPで投資家名をご紹介します

「さがみはらグリーンボンドフレームワーク」について

- 「さがみはらグリーンボンドフレームワーク」では、グリーンボンドの充当事業の詳細、資金管理方法、レポート項目等について定めています
- 本フレームワークに基づき調達された資金は、環境改善効果が見込まれる事業に充当され、その事業の効果を投資家に適切に情報公開いたします
- フレームワーク及び第三者評価については、本市HPにて公開しています

さがみはらグリーンボンド発行の情報

URL : <https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026803/1003966/shisai/1027574.html>



お問い合わせ先

相模原市財政局財政課 市債担当

TEL 042-769-8216 FAX 042-751-0208

Mail zaisei@city.sagamihara.kanagawa.jp

HP <https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15



潤水都市 さがみはら